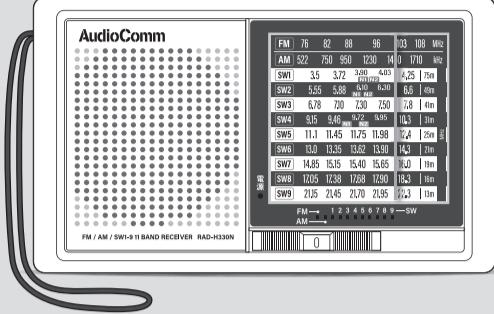


ハンディ短波ラジオ

(FM/AM/SW1-9 11バンドレシーバー) 型番: RAD-H330N

品番: 03-5570



このたびは、AudioComm®ハンディ短波ラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますが大切に保管してください。

免責事項

- 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品よりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にびりびりと痛みを感じることがあります。これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) 買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
- (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
- (ホ) 本書のご提示がない場合
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
- (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ハンディ短波ラジオ		★お買い上げ日:	年 月 日
型 番	RAD-H330N		品 番	03-5570 保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)
お 客 様	ふりがな ★お名前 様			
	★ご住所 〒 一 電話 ()			
修理メモ				
販 売 店	★住所 店名 電話 (印)			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

電話 平日 9:00~17:00
受付 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話 平日 9:00~17:00
受付 048-992-3970 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

△ 警告

以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- | | |
|--|--|
| ●万一本体から乾電池を取り外す
・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 | ●浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない
・感電や故障の原因となります。 |
| ●車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない
・交通事故の原因となります。
・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。 | |
| ●本機を分解、修理、改造しない
・火災・感電の原因となります。 | ●乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。 |
| ●屋外で使用中に雷が鳴り始めたら、すぐに使用を中止する
・落雷や感電の原因となります。 | |

△ 注意

以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定されますので十分ご注意ください。

- | | |
|---|--|
| ●乾電池を挿入するときは極性表示(プラス+とマイナス-)に注意し、表示どおり正しく入れる
・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 | ●温湿気やほこりの多い場所に置かない
・火災・感電の原因となることがあります。 |
| ●指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例:アルカリとマンガン)を一緒に使わない
・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 | ●はじめから音量を上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けない
・周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。 |
| ●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない
・落下による故障やけがの原因となることがあります。 | ●落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
・故障や破損の原因となることがあります。 |
| ●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
・故障の原因となることがあります。 | ●電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない
・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。 |
| ●長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す
・火災・液もれの原因となることがあります。 | ●定期的に乾電池を交換する
・定期的に乾電池を交換することで、より安全な使用環境を保つことができます。 |

乾電池を安全にお使いいただくために 液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

△ 警告

- ・火中への投入、加熱、分解しない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

△ 注意

- ・+/-の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に使わない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一本体から乾電池を取り外す
・火災・感電の原因となることがあります。

- 万一本体から乾電池を取り外す
・火災・感電の原因となることがあります。

- 万一本体から乾電池を取り外す
・火災・感電の原因となることがあります。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- 乾電池は正しく装着されていますか。+/-の向きは正しいですか。

- 乾電池が消耗していませんか。

- ACアダプター使用時: ACアダプターが正しく差し込まれていますか(ゆるんでいませんか)。

- ACアダプター使用時: 本機の規格に合ったACアダプターを使用していますか。

音が出ない・小さい

- 電源は入っていますか。

- 音量が最小になってしまいませんか。

- イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。

- バンドやバンドメーターを正しく選びましたか。正しく選局されていますか。

- 乾電池が消耗していませんか。

- 乾電池が消耗していませんか。

- 近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離してお使いください)。

- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離してお使いください)。

- SW放送の場合、季節や混信発生状況によって周波数が変更になっている可能性があります。各放送局の周波数をご確認ください。

- スイッチング式のACアダプターを使っていますか。トランス式のものをお使いください。

短波放送(SW)について

短波は地上70~500kmにある電離層に反射する特性があり、地表と電離層の間を遠くまで進むため、地球の裏側で発せられた短波放送を受信することができます。

メーターバンドとは

短波放送は国際協定により、放送局ごとに使う周波数帯が割り当てられています。この周波数帯のことを「メーターバンド」といい、これにより世界の電波の混信を防いでいます。本機が受信できるメーターバンドは右表のとおりです。短波放送を聴くときは、SW1(75m)~SW9(13m)をバンド切換スイッチで選んでから、選局ダイヤルで各放送局の周波数に合わせてください。

周波数の変更について

小さい出力で遠くまで受信できる短波放送ですが、一方では電波の伝わりかたが季節によって変化する特徴もあります。夏は高い周波数、冬は低い周波数のほうがよく伝わります。そのため日本を含めた各国の短波放送局は、複数の周波数を使うとともに、年に何回か周波数の変更を行なっています。また、混信が発生した場合も周波数修正を行なっています。

ラジオNIKKEIについて

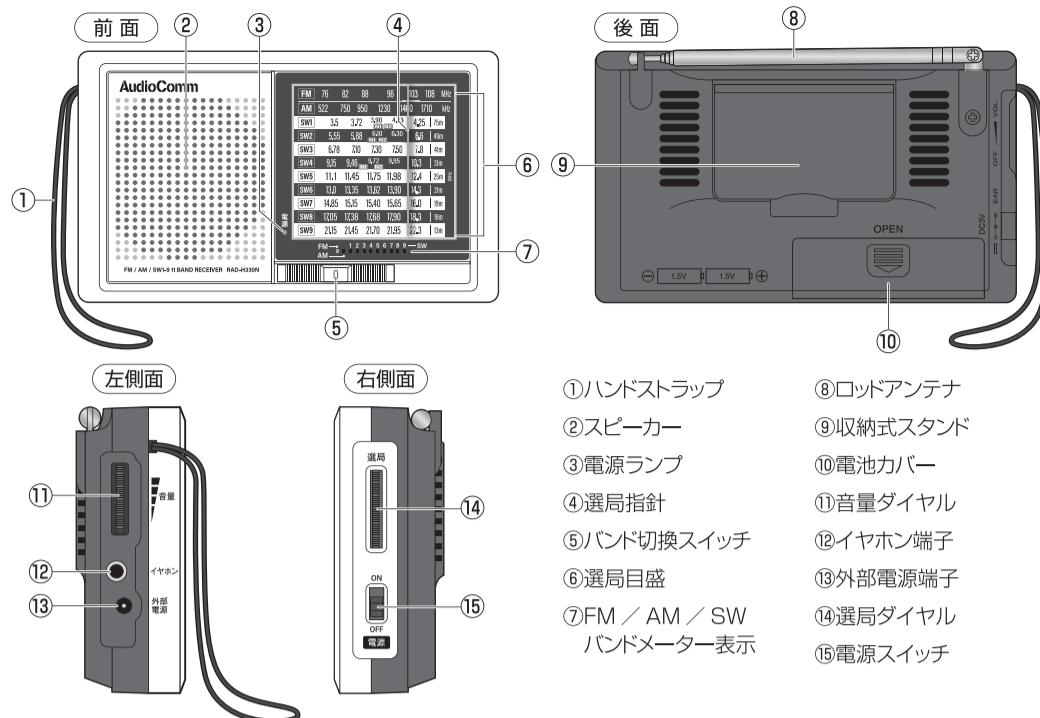
ラジオNIKKEIは、投資・株式などのビジネス情報や、競馬情報、エンタメ・カルチャー、メデイカル・健康など様々な番組を放送しています。詳細は<https://www.radionikkei.jp/>をご参照ください。

メーターバンド	周波数帯(MHz)
SW1(75m)	3.5~4.25
SW2(49m)	5.55~6.6
SW3(41m)	6.78~7.8
SW4(31m)	9.15~10.3
SW5(25m)	11.1~12.4
SW6(21m)	13.0~14.3
SW7(19m)	14.85~16.0
SW8(16m)	17.05~18.3
SW9(13m)	21.15~22.3

※世界各国の短波放送は休止になる場合があります。また、放送言語は、放送局・周波数・時間帯などにより異なります。最新情報は各放送局のウェブサイトなどをご確認ください。

第1放送	6.055MHz(7時~24時) 3.925MHz(補完/7時~8時、17時~24時) 9.595MHz(緊急時)
第2放送	6.115MHz(8時~19時) 3.945MHz(代替/19時~23時) 9.760MHz(緊急時)

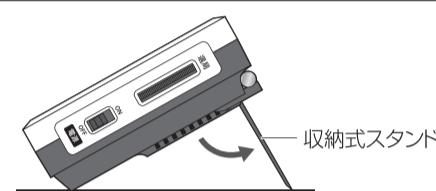
各部の名称



収納式スタンドについて

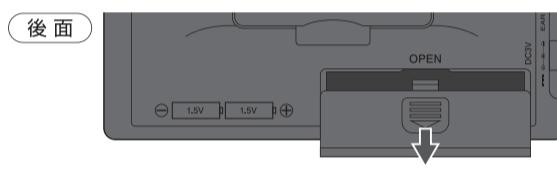
卓上に置いて使うときは、後面の収納式スタンドを広げてください。

上から無理な力をかけないでください。本機の破損や故障のおそれがあります。



乾電池の入れかた

1 電池カバーの^⑨部を押しながら下にスライドさせ、電池カバーを取り外します。



2 単3形乾電池×2本(別売)を、^⑩と^⑪の向きに注意しながら図のように正しく入れます。
乾電池はマイナス(^⑩)側から先に入れてください。
リボンの上から入れると、取り出しやすくなります。



3 電池カバーを元どおりにしっかりと閉めます。

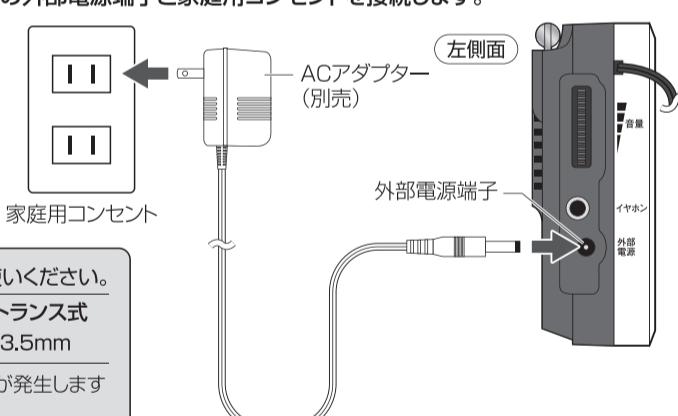
長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。

ACアダプター(別売)で使うときは

ACアダプター(別売)を使って、本機の外部電源端子と家庭用コンセントを接続します。

ACアダプターを使うと、長時間ラジオを聞くときに便利です。

乾電池が入っている場合でも、ACアダプター使用時は自動的に家庭用電源に切り換わります。



下記規格の市販ACアダプターをお使いください。

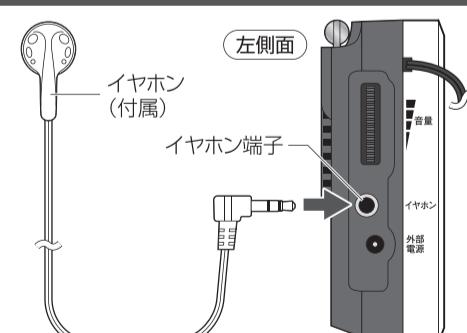
DC3V 150mA以上 ^⑩●^⑪トランス式
適合プラグ径：内径1.3mm 外径3.5mm

*スイッチング式ACアダプターは雑音が発生しますので、使わないでください。

イヤホンで聞くときは

イヤホンのφ3.5mmステレオミニプラグを本機のイヤホン端子に差し込んでください。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音は聞こえなくなります。

本機のイヤホン端子はモノラル出力用ですが、ステレオミニプラグのみ対応します。モノラルミニプラグのイヤホンはお使いいただけません。



ワイドFM(FM補完放送)について

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

お手入れのしかた

事前に必ず電源を切ってください。

●本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭いてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後、から拭いてください。

●シンナー・ベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

ラジオを聞く

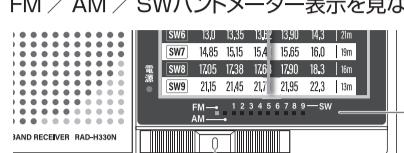
本機はモノラル受信機です。ステレオ音声にはなりません。

1 電源スイッチを「ON」に合わせると、電源が入ります。

電源ランプが点灯します。電源を入れるときは、音量を抑えめにしてください。

2 バンド切換スイッチを右または左に動かし、お聴きになりたいバンドを選びます。

FM / AM / SWバンドメーター表示を見ながら操作してください。

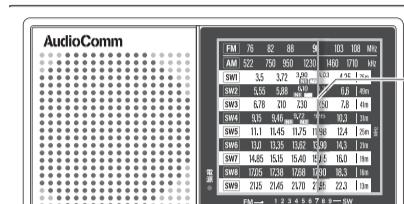


前面
FM / AM / SW
バンドメーター表示

バンド切換スイッチ

3 選局ダイヤルを回して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

選局ダイヤルを回すと、選局指針が左右に動きますので、選局目盛を見ながら操作してください。

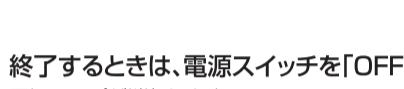


前面
選局指針

選局ダイヤル

4 音量ダイヤルを回して、音量を調節します。

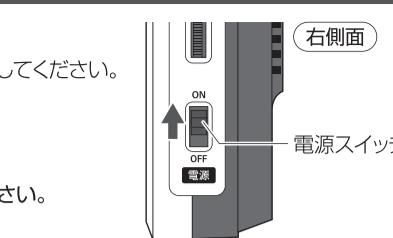
音量の上げすぎにご注意ください。



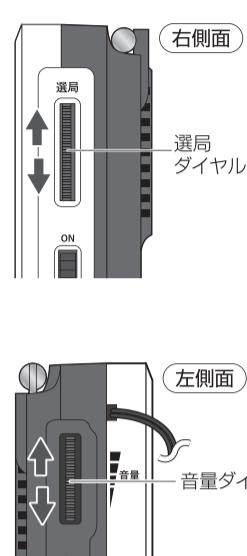
前面
音量ダイヤル

5 終了するときは、電源スイッチを「OFF」に合わせて電源を切ります。

電源ランプが消灯します。



右側面
電源スイッチ



右側面
選局
ダイヤル



●FM・SW放送の場合

ロッドアンテナを伸ばし、アンテナ及び本機の方向、角度を変えて最も良く聞こえるように調節してください。

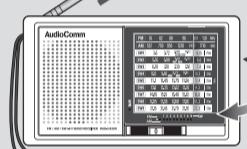
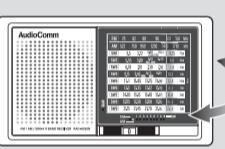


*アンテナは水平方向には回転しませんので無理に回さないでください。

受信状態を良くするには

●AM放送の場合

本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。



*テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

*持ち運ぶときは、目をついたり危険ですので、ロッドアンテナを縮めてください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

主な仕様

電源	DC3V 単3形乾電池×2本(別売)	外部電源 DC3V 150mA ^⑩ ● ^⑪ (ACアダプター別売 : 適合プラグ径／内径1.3mm 外径3.5mm)
スピーカー	口径57mm インピーダンス8Ω	
受信周波数	AM : 522~1710kHz FM : 76~108MHz SW : 3.5~22.3MHz	
メーターバンド	75m、49m、41m、31m、25m、21m、19m、16m、13m	
乾電池持続時間	スピーカー使用時 AM受信：約44時間 FM受信：約51時間 SW受信：約46時間 イヤホン使用時 AM受信：約77時間 FM受信：約80時間 SW受信：約75時間	
アンテナ	AM : 内蔵フェライトバーアンテナ FM・SW : ロッドアンテナ	
接続端子	イヤホン端子(φ3.5mmステレオミニジャック)	
外形寸法	幅124×高さ74×奥行26mm(突起物含まず)	
質量	約127g(乾電池含まず)	
付属品	モノラルイヤホン、ハンドストラップ(本体に固定)、保証書付取扱説明書	

*1 アルカリ乾電池新品使用時(音量中程度)の目安です。使用環境により異なります。

*外観、仕様は予告なく変更することがあります。 *本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。